



## 令和4年度「さわやか」活動報告

項目	合算	八幡	小倉
登録ボランティア数	25名	9名	16名
登録車両数 (うち軽自動車数)	20台 (4台)	9台 (2台)	11台 (2台)
登録利用者数	21名	15名	6名
送迎回数	1057回	422回	635回

(八幡・小倉事業所合算 令和5年3月31日現在)

次に、山田理事長が「新型コロナウイルス感染症法上の位置づけが『5類感染症』に移行しましたが、このところ福岡県では、新型コロナウイルスの感染者が増大していると聞き及んで

### 事業を終える

昨年度も無事故で

した。続いて、資格審査委員に貞谷事務局員が選任されました。

出席者が全員揃ったので、定刻より二十分早く始めました。

七月三十日(日)十一時十分から、北九州市立福祉会館(ウエルとばた)(戸畑区)十二階一二会議室で「第二十回特定非営利活動法人通院介護センター『さわやか』の定期総会」を開催しました。

### 第20回 特定非営利活動法人

## 通院介護センター「さわやか」定期総会開催

おります。

それでもこの総会を開催していただいた福岡県腎臓病患者連絡協議会(福腎協)の町田敏男副会長と参加していただきました幹事の皆様には感謝申し上げます。

今年で『さわやか』は、二十八年目を迎え、法人格を取得して二十一年目となります。

昨年度も無事故で事業を終えることができました。限られた時間ですが、この総会が速やかに行われますよう、皆様のご協力をお願いいたします」と挨拶しました。

次に、貞谷資格審査委員より午前十時四十分現在、総正会員数二十六名、出席十七名、(うち書面表決者七



名) 欠席者九名で定款の条項に基づき総会は成立する旨、報告がありました。

本日の総会の議長に一般社団法人全国腎臓病協議会の森満義彦通院介護委員が選任され挨拶があり、議事録署名人に山田理事長と梶原常務理事が選任されました。

その後、審議に入りました。  
★第一号議案・・  
貞谷事務局員より令和四年度活動報告がありました。

### ★第二号議案・・

梶原理事より令和四年度収支決算報告がありました。

### ★第三号議案・・

小田監事が所用で欠席のため、梶原理事が令和四年度会計監査報告を代読しました。

第一号議案から第三号議案まで全て満場一致で承認されました。

### ★第四号議案・・

高原理事より令和五年度活動方針(案)の提案がありました。

森満議長より、令和五年度活動方針(案)の中に、北部九州三県合同通院送迎事業研修会とありますが、北部九州三県とはどこの県のことですかと質問がありました。

それに対して、高原理事が、北部九州三県とは長崎県(長崎・佐世保・諫早・五島)と佐賀県、福岡市、北九州市ですと回答しました。

### ★第五号議案・・

梶原理事より令和五年度事業計画及び収支予算(案)の提案がありました。

### ★第六号議案・・

山田理事長より、運転ボランティアさんの高齢化が進み、減少しているの

で、各病院の腎友会の会員の方にお声かけをしていただいて、運転ボランティアに興味をお持ちの方で協力していただければ、事務局まで連絡いただきたいと思っております。すぐに対応させていただきますと話しました。



続いて、福腎協の副会長でもあり、今村クリニックスの幹事でもある町田副会長より、運転ボランティアの募集のチラシはどこに設置していますかと質問がありました。

それに対して、山田理事長が、各区役所や公民館、ボランティアセンター、ウエルとばた等に設置いたしますと回答しました。

また、医生ヶ丘クリニックの安東正一幹事より、毎月発行している『さわやか』新聞と一緒に運転ボランティアの募集のチラシを郵送してほしいと提案がありました。  
(裏面へつづく)

## 残暑お見舞い

## 申し上げます

皆さま、酷暑が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか

熱中症対策に水分補給をという言葉を聞きますが、水分だけでは「水中毒」になるとい話を聞きました

水分もそうですがミネラルや塩分もしっかり摂取して

この夏を乗り切りましょう

二〇二三年八月 事務局一同



## Dr. 江頭真紀子氏による

### 「ついでにおきのお話し」

好評につき「ついでにおきのお話し」を公益財団法人健和会 健和会京町病院の医師であり、「さわやか」の名譽顧問でもある江頭真紀子先生に執筆していただきましてご紹介いたします。

## 帝王切開

公益財団法人健和会

健和会京町病院

医師 江頭 真紀子

古代ローマの英雄ユリウス・カエサルは帝王切開で生まれたといわれています。

でもそれはあやしい。カエサルは紀元前ちようど一〇〇年の生まれ。その時代にそんなことをすれば母体は死んでしまいます。ユリウス・カエサルの母は長生きしたことが知られているからです。

この話は紀元後一世紀のローマのプリニウスという人が、「博物誌」の中書い

(表面よりつづき)

それに対して山田理事長が、各病院の腎友会の幹事さん宛に次号の『さわやか』新聞を郵送するときに、チラシを一緒に同封する旨、報告がありました。

また現在、『さわやか』八幡事業所がお世話になってる済生会八幡総合病院が来年初ごろに北九州市八幡西区則松に移転が決まったので、「さわやか」八幡事業所も一緒に移転することの

ているそうです。

しかしこれは自然の事物についてだけでなく、各地の伝説や海山(うみやま)の妖怪についても書き散らしてある本ですから、単なる伝承を記したものか、カエサルという名にかけたプリニウスの冗談かとも言われています。

カエサルという言葉は、ラテン語で「切り出されたもの」という意味で、死亡した母親の腹を裂いて取り



報告がありました。

第四号議案から第六号議案まで全ての議案は満場一致をもって承認されました。

森満議長の解任の挨拶があり、岡副理事長が閉会を告げ、十一時二十分に閉会しました。



古代ローマ英雄  
ユリウス・カエサル

出された子を意味することがあるのだそうです。

妊娠後期に妊婦が死亡した時、そうするべきと当時の法で定められていたとのこと。

赤子が生きる可能性を見過ごしてはならないということです。

さすが肉食の西欧人、血を見ることをおそれなかつたのでしよう。

この処置はヨーロッパがキリスト教化されたのちも行なわれました。

胎児が生きているうちに取り出して洗礼を受けさせ、天国へ送るのが目的でした。

しかしそのようにして生を受け、生き延びる赤子もいたようです。

近代になって、難産の母体を救うためにこの処置が行われるようになりましたが、むろん救命率は低かつたのです。

ドイツではこれをカイゼルシュニットと呼びました。カイゼルはドイツ語で皇帝の意味、シュニットは切

るという意味ですから、日本では帝王切開と訳されたのでした。

シェイクスピアの悲劇「マクベス」。

魔女の予言に惑わされて王を殺して篡奪者(さんだつしゃ)となったマクベスは、周囲がすべて敵という危機に陥った時、再び魔女の予言を求めに行きました。

その予言は、

「女が産んだ人間がお前を倒すことはできない」

「バーナムの森が攻めよせてくるまでは、お前は滅びることはない」

しかし敵方は、兵力をくらますために木の枝を背負って行軍してきたため、森が動いてくるように見えたのでした。

最後にマクベスを追いつめたのは、彼に妻子をみな殺しにされた武将マクダフ。

「女が産んだ人間がおれを倒すことはできないのだ」と言うマクベスに、あざ笑って言うのでした。

「このマクダフは月足らずで、母親の腹を裂いて引きずり出された人間だぞ」

「女から生まれた人間」ではなく、「女が産んだ人間」と言った魔女の言葉がトリックだったというのが従来の解釈ですが、シェイクスピア

ア研究者の加藤行夫先生が言われるには、死んだ母親はすでに女ではないのだと。

オフェーリアの墓

を掘って

いる墓堀り男が、

墓の主は男か女かと訊ねる

ハムレットに答える場面があります。

「もとは女だったが、今じゃ死人だ」

療養病棟の朝の回診。あるご老人の枕元に貼った紙に一句ありました。

青嵐(あおあらし)

マクベス攻むる

森のこと

若松の俳句協会の会長をつとめた方であったそうです。

(青嵐 新緑をそよがせて

拭き渡るやや強い風

夏の季語)

【参考文献】医療今昔物語

帝王切開・臨床化学25巻10号

帝王切開と「女」の死

『マクベス』の「謎」

解かれたか

加藤行夫

「シェイクスピア」

世界を超えて」

【日本シェイクスピア研究会編

研究社】

